

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年4月26日

所属・職名	人間社会学部・教授	氏名	勅使河原 隆行
研究課題	ソーシャルワークの視点による避難者支援活動に関する研究		
研究キーワード	ソーシャルワーカー	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本研究を通じて、ソーシャルワークの視点による避難者支援活動を実施する前と後では、避難者自身の心に変化があることが明らかになった。支援活動実施前に行ったフィールドワーク調査での頻出キーワードは、「不安、風化防止、風評被害」などの消極的なものが多く、この状況を解決するための方法や手段として「人間関係、地域活性化、地域の協力、人脈、特産品」というキーワードを使用していた。しかし支援活動実施後では、「感謝、人と人の繋がり、満足感、お礼、若い世代」という前向きなキーワードに変化していた。また、交流活動に関しても復興支援という形態ではなく、自立支援型といった視点に変えていくというニーズの変化に対応した活動内容が求められていることが実証検証を通じて明らかになった。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【学会発表】 「被災地での学生ボランティア・地域の活性化」第1回日本共生社会推進協会（学会組織）全国大会、千葉商科大学、2019年5月</p> <p>【国際発表】 「共生社会を推進するための福祉教育に関する研究」日本共生社会推進協会（学会組織）国際研究大会 台湾国立中正大学、2019年12月</p> <p>3. 主な経費</p> <p>調査研究や学会年会費などに、適正に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>【国際研究活動】 台湾国立中正大学・社会企業研究センター 副センター長</p> <p>【学会活動】 日本共生社会推進協会（学会組織） 副理事長 日本福祉図書館学会 関東支部長・理事</p> <p style="text-align: right;">（本文は1ページ以内にまとめること）</p>			